

御礼

特定非営利活動法人アムダ
インドネシア・アチェ事業
業務調整員 梶田 未央

私ども AMDA は、2004 年 12 月 26 日に発生したスマトラ沖大地震・インド洋津波で最大の被害を受けたインドネシア・アチェ州において災害直後から緊急救援活動を実施し、現在は津波の被害にあった子ども達と、また 30 年間にわたり政府とアチェの分離独立を求める反政府勢力との間で繰り返された内戦の影響が大きい地域の子どもの心へのケアのための活動 (REACH : Reading, Learning, Creativity for Healthy Life in Aceh) を行っています。読書、創作活動、ゲームそして保健衛生教育からなるこの活動は、津波・内戦によって負った子ども達の心の傷を少しでも軽くし、彼らの健やかな成長を支援することを目的としています。

さて、この度は私どもに対し貴重なご寄付を頂きまして誠にありがとうございました。また、ご好意によりインドネシア視察団の皆様から株式会社フェリシモ様からご寄贈いただいた絵本を運んでいただきましたことに対しましても重ねて御礼申し上げます。

絵本は、平和の大切さについて子ども達にわかりやすく伝えるものや、立体的な仕掛け絵本など様々な種類のものが 80 冊ほどあり、活動の一環として子ども達の読書・読み聞かせに活用させていただいております。

日本に比べインドネシアには子ども達の情操教育にとって大切な良質な絵本がまだまだ少なく、特に仕掛け絵本のような凝った作りのものはほとんど見当たりません。簡潔でわかりやすい言葉とカラフルな絵を使って平和について語りかける絵本をボランティアに読んでもらい、真剣な表情で耳を傾けていた子ども達。初めて仕掛け絵本を手にして驚いていた幼児。日本から海を越えてやって来た絵本を初めて見た子ども達はとても興奮して喜んでいました。また、子どもだけでなく周囲の大人達もカラフルな絵や楽しい仕掛けの絵本に興味津々で、皆口々に「素敵なお本をありがとう」と言ってくれ、子どもの健全な成長を願う大人達の気持ちは世界共通だと改めて実感いたしました。

子ども達の健やかな未来を作るためには、AMDA ではなく、地域のボランティアがこういった活動を継続して実施することが重要になります。現在はそのための基盤作りとして、図書・書棚の寄贈、図書館運営のためのボランティアのトレーニングなどを行なっています。この度賜りましたご寄付はその目的を実現するため、有意義に活用させていただきたく思います。

最後になりましたが、岡山経済同友会様のみますますのご発展を祈念申し上げます。